「いつも読んでいただき、ありがとうございます。」
【住宅・店舗の設計・施工・監理】株式会社ミズノ 空間設計ミズノ ～1950年4月1日創業。創業76年目です。～
【会社創業より 27913日(9月1日付)】
2026年９月１日(火曜日) 発行/発信241号

～建築は、建てることより育てること～

MIZUNO"旬感"だより

vol.235

令和８年９月号

秋興（しゅうきょう）

秋の風景や情緒を
味わい楽しむこと

今月の言葉 「食べることは生きること」

―子どもたち自身が料理をする保育園

桐村里紗 著“土に触れる人はなぜ健康になるのか”より

１５０年後というスケールは、５世代先の子孫が生きる世界です。そのためには、今、動き出さないと手遅れになってしまうかもしれない分岐点に立っている、という現実を突きつけられます。

薩摩会議を主催するSELFの共同代表である古川理沙さんの手がける保育園と小学校には、未来の希望があります。

古川さんは、「食べることは生きること」を中心に掲げ、鹿児島県の霧島市に「ひより保育園」、鹿児島市の繁華街の中心部、天文館にある「そらのまちほいくえん」を運営しています。

食料自給率が低下し、食べることの背景にあるつながりが希薄化して、自立できない人が増えたことが、危機感となっていたそうです。

コンセプトは、大人がレールを敷きすぎないこと。「食」を教材の真ん中にすえ、本人が生きる力を身につけて、自分の力で学び取っていくこと。

なんと、子どもたちは１歳で泥遊びをするように麹から味噌を仕込み、２歳でご飯を炊き、３歳で味噌汁をつくり、４～５歳でメインのおかずがつくれるようになり、卒園するころには、食材の旬などについても知識を増やし、一通りの煮炊きものができるようになります。

また、料理の分担や工程を相談し合って、料理を完成させるというゴールへの道筋が立てられるようになります。料理が目的ではなく、料理を通して物事の全体を把握し、達成できる力をつけることを目指しているといいます。

園児たちは、自分たちで遠足を企画し、その費用を稼ぐために、子どもたちがレストランを企画し、メニュー考案から調理や配膳、接客だけでなく、価格設定まで行い、なんと、10万円以上を稼ぎ出したそうです。

そして、先生たち大人を引き連れて、バスをチャーターし、合計８万円で水族館に遠足に行き、余った２万円を何に使うのかと思えば、卒園時に「下の学年が何か使いたいときのために」と託して、大人たちを驚かせたそうです。

こうした生きた教育を行っていると、子どもたちのなかには実生活で、自発的に足し算や引き算を習い始めた子どももいたといいます。

９月に入って、通学する子どもたちの姿があると、やはり街の中も活気づきますね。
そんな子どもたちの可能性を実現させたお話をご紹介しました。

水野博旨

空間設計ミズノ vol.112 のデザイン記録

名古屋・栄の街でひときわ目を引くのが**オアシス21**。ガラスの大屋根「水の宇宙船」が浮かぶように架かり、その下に屋上の空中散歩路と芝生広場、１階のバスターミナルや店舗が組み合わされた、開放的な立体公園建築です。近隣にそびえるテレビ塔（中部電力 MIRAI TOWER）と、モニュメント「**@NAGOYA**」との組み合わせは、名古屋を代表する撮影スポットです。

そして今月、愛知・名古屋ではアジア競技大会が開催されます。大会を象徴するトーチは、愛知県立芸術大学の本田氏がデザインしたもので、内部の構造が見える、デザイン的にも興味深いものです。先月22日にスタートした聖火リレーでは、私も聖火ランナーとして、このトーチを手に走りました。
オアシス21やテレビ塔を背景に建築とデザイン、そしてスポーツがひとつに繋がる、忘れられない時間となりました。

スケッチ・文：水野真宏

伝統再築士による
古民家＆日本建築講座

伝統再築士とは…次世代に引継ぎたい文化的価値の高い木造物を残すための専門家

『屏風(びょうぶ)』の数え方

日本の伝統的な家具である**屏風**。「風を屏(ふせ)ぐ」という名の通り、元々は布団の枕元に立てて冷気を防ぐ風よけに使われていました。この屏風、ちょっと珍しい数え方をします。
頭の体操にもなりそうですよ(笑)。

一般的には「**一双(いっそう)**」「**一隻(いっせき)**」と数えます。「隻」は単数を示す助詞で「本来は対であったものの片側」を指す言葉です。屏風は、向かって右側の位置にくる右隻と左側の左隻の二つが一組となっているものを「一双」と呼びます。また、屏風を構成する一枚一枚の板は「**扇(せん)**」と呼ばれ、二枚でできたものは「**二曲(にきょく)**」、六枚なら「**六曲(ろっきょく)**」、八枚なら「**八曲(はっきょく)**」と数えます。一枚の六曲屏風を「**六曲一隻**」、さらに左右一組の六曲屏風なら「**六曲一双**」と表現します。この数え方自体が屏風の形や構成を伝える大切な言葉になっています。

この旬感だよりはホームページでもご覧いただけます。

株式会社ミズノ ホームページ→ www.mizuno1950.co.jp

空間設計ミズノ ホームページ→ www.mizuno-architects.com

― お客様専用フリーダイヤル ―
0120-387-312（さわやかなすまいに） mizuno@mizuno1950.co.jp
― 建築は、建てることより育てること ―
株式会社ミズノ 空間設計ミズノ
一級建築士事務所

いよいよ開催！ 9/19(土)～10/4(日)・パラ10/18(日)～24(土)

第20回アジア競技大会 第５回アジアパラ競技大会

始まる前に知っておきたい豆知識

“アジア大会”ってどんな大会？

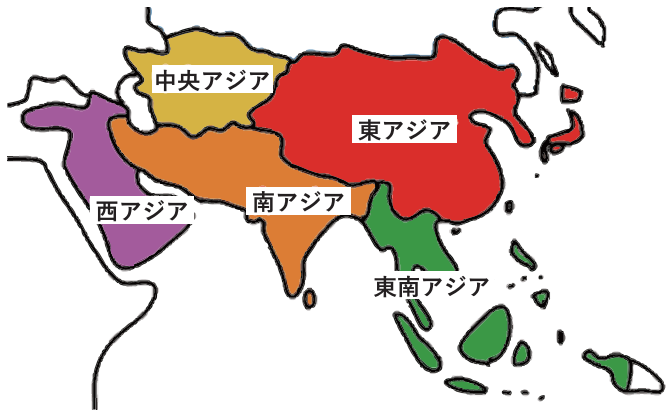
アジア・オリンピック評議会（OCA）が主催の、４年に １ 度開催されるアジア最大級のスポーツ大会です。アジア版のオリンピックですね。
第１回目は1951年にインドのニューデリーで開催されました。日本では1958年に東京大会、1994年に広島大会が開催されており、今回は 32年ぶり３度目の日本開催となります。ちなみに次回、第 21 回はカタールのドーハにて開催予定です。

何競技ある？新競技とは？

43競技行われる予定です。アジア特有の、オリンピックにはない競技もいくつかあります。新たな競技はインド発祥の**カバディ**、“足のバレーボール”と呼ばれる東南アジア発祥の**セパタクロー**、中国の武術を元にした**武術太極拳**などがあります。仮想空間で体は触れずに競い合う**バーチャルテコンドー**やコンピューターを使う **E スポーツ**など現代的な新競技は世界で注目されています。

何カ国、何人参加する？

アジアは世界全体の約3割の陸地があり、人口は世界全体の半分を超えています。東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、西アジアに分けられており 48 カ国あります。今回の大会には 45 カ国と地域が参加し、選手とチーム役員で総勢 15000 人（パラ3600～4000人）にのぼるようです。日本選手は史上最多の933人（パラ 259 人）が認定されています。



オリンピックとはまた違う見どころがありそうですね。名古屋の街は夏の暑さとは違った熱気に包まれ、とっても熱くなりそうです！

第82回ミズノメセナイベントのご報告

個性心理學 令和８年８月８日

動物占い × パン作り

楽しく和やかに開催しました。

末広がりの８が３つ並ぶ縁起の良い日、**動物占い**では「知らない自分を発見しました」、「新たな目標ができました」、「今後の対人関係に活かせそう」と。**パン作り**では、「パン作りのハードルが下がりました」、「作る楽しさと美味しさを体感しました」、「早速、夏休み中に子どもと作りたいです」と、楽しんでいただけたようです。**ハハハ**と笑い声に満ちたひと時になりました。

動物占い 講演会

パン作り

ご参加のみなさん、ありがとうございました。

本社103号室にて －毎月第１・３火曜日に開催中－

住まいに関する疑問や不安はありませんか？
建築士に話す　建築士と考える

多くの声にお応えして

【１日３組限定】

個別無料相談会 開催中

9/1・15(火)　①13時～ ②14 時～ ③15 時～

10/6・20(火)　①13時～ ②14 時～ ③15 時～

完全予約制です。ご予約は 0120-387-312へ

ご相談の方にはオリジナル木小物をプレゼントします！

本社・設計部 空間設計ミズノ（名古屋陶磁器会館内）

本社は１階103号室
空間設計ミズノは２階204号室

住宅や店舗の建築・リフォーム・リノベーション等の設計・施工を承っております。東区の本社／空間設計ミズノ（一級建築士事務所）を拠点に、港区では旧本社を港支店として営業しております。

上記相談会以外の日時でも、随時ご相談に応じます。
（電話・メールにてお問合せください。0120-387-312）

予定数満席につき、受付終了しました。

Take39 駆け出し建築士の BOOKS & CINEMAS

■神田ごくら町 職人ばなし（二）

著：坂上暁仁

以前紹介した『神田ごくら町職人ばなし』の第二巻です。一巻は様々な職人の仕事を通して、ものづくりの奥深さを感じられる作品でしたが、二巻は建具屋に焦点を当てたお話です。

建具屋の道具の使い方や木材の加工、面取りのやり方まで鮮明に描かれていて、普段何気なく見ている建物や道具にも、多くの人の技術と工夫が積み重なっていることに気づかされました。また仕事や道具への向き合い方が制作したものに表れると感じ、物を作ることへの姿勢について勉強になる内容でした。作中で親方が「意気地のねえ職人なんざいらねえ」という場面があるのですが、この“意気地”という言葉が自分の仕事への大事な心持ちとなりました。

建築やものづくりに興味がある人はもちろん、普段職人の仕事を見る機会がない人も、職人の言う意気地とは何なのか…。これから訪れる秋の夜長に、この本を読んで思いを巡らせてみてください。

住宅・店舗の設計・施工・監理 －1950年創業－

株式会社 ミズノ
空間設計 ミズノ
〈一級建築士事務所〉

□ 徳川本社 〒461-0025
名古屋市東区徳川一丁目10番３号
名古屋陶磁器会館１階 103号室
【お客様相談窓口 0120-387-312】

□ 設 計 部 〒461-0025
名古屋市東区徳川一丁目10番３号
名古屋陶磁器会館２階 204号室
TEL 052-982-8316 FAX 052-982-8357

□ 港 支 店 〒455-0001
名古屋市港区七番町５丁目３番地
TEL 052-652-6886 FAX 052-661-0653

住宅・店舗等の新築設計施工／リフォーム・リノベーション・コンバージョン（用途変更）の設計施工／エクステリア・グランドデザインの設計施工など、ご相談ください。

◆地下鉄 桜通線 高岳駅・車道駅より徒歩20分
◆市バス 赤塚白壁バス停より徒歩５分

Google Map 〈本社・設計部〉 〈港支店〉

◆地下鉄 名港線 東海通駅より徒歩３分
◆社屋南側に駐車場あり